

公安委員会定例会議開催状況

- 1 開催日時 令和7年2月19日（水）午前9時45分から午前11時55分まで
- 2 開催場所 公安委員会室
- 3 出席者
 - (1) 公安委員会
竹内委員長 久保田委員 入内島委員
 - (2) 警察本部
本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長
情報通信部長 首席監察官 サイバーセンター長 警察学校長
犯罪被害者支援室長 監察課次席 訟務室長 生活安全企画課長 交通規制課長
運転管理課聴聞官 公安委員会室長
- 4 議事の概要
 - (1) 報告事項
 - ア 令和6年度全国優秀警察職員表彰受章者の決定について
警察本部から、上記の件について報告があった。
委員から「大変名誉なことだと思うので、受章者に対してはお祝い申し上げます。」と意見があった。
 - イ 110番通報受理状況について（令和7年1月末）
警察本部から、上記の件について報告があった。
委員から「緊急の対応を要しない通報が増えているとのことだが、内容には特殊詐欺の予兆電話に伴う相談も多いと聞き、その理由は理解できる。受理件数が増加傾向にあるが適切な対応を徹底していただきたい。」と意見があった。
また、委員から「受理件数の増加は、担当職員の負担増加につながると思うので、明らかに緊急の対応を要しない通報の減少にも努めてもらいたい。」と意見があった。
 - ウ 刑法犯の認知・検挙状況について（令和7年1月末）
警察本部から、上記の件について報告があった。
委員から「特殊詐欺の認知件数が減少しているのは、警察による広報活動が浸透してきた影響等もあると思う。引き続き抑止に向けて努力していただきたい。」と意見があった。
また、委員から「重要窃盗犯については認知件数等が増加しており捜査も大変だと思うが、引き続き検挙率の向上に努めていただきたい。」と意見があった。
 - エ 死体取扱状況について（令和6年中）
警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「死体取扱総数は３０００体を超えているとのことで、検視官の負担も大きいと感じた。」と意見があった。

オ 株式会社ラックを招いた情報リテラシー講習の実施について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「非常に良い企画だと思う。現在は中学一年生でもＳＮＳを使っている子供が多いのだろうか。」と質問があり、警察本部から「ほとんどの中学生はスマートフォンを所持していると思う。」と回答があった。

また、委員から「そのような現状ならば、早い段階から講習を行うことが必要だと思う。」と意見があった。

さらに、委員から「同種企画として教員に対する勉強会等の実施は検討しているか。」と質問があり、警察本部から「今後検討させていただく。」と回答があった。

加えて、委員から「教員に対しても普及させることで情報リテラシーの裾野が広がっていくと思う。」と意見があった。

カ 職員による非違事案の処分について

警察本部から、上記の件について報告があった。

(2) 決裁事項

ア 犯罪被害者等給付金支給裁定について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

イ 運転免許証の更新処分に対する審査請求の裁決について（２件）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

ウ 街頭防犯カメラシステム運用状況について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

エ 信号機関連の交通規制について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

オ 行政処分の意見聴取結果について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案１２件の意見聴取結果及び６件の聴聞結果について説明があり、決裁した。